

ぼくを私を一番に

NPO 法人さやま保育サポートの会
代表理事 諏訪 きぬ

上の子の手を引き、小さな赤ちゃんを抱えて、プレイスを訪れる親子の姿が多くなりました。「もう一人は幼稚園に行ってますよ」と堂々たる3人子持ちの方もいます。しかし大半のお母さんは、赤ちゃんに嫉妬して赤ちゃん返りしたり、駄々をこねたりする上の子に手を焼いている様子です。「赤ちゃんが目を覚ましてベットの方へ行こうとすると、今まで集中して遊んでいたおもちゃから身を離して、“ママァー”と泣き声を出して寄って来たり…」「いい子・いい子してくれているかと思うと、叩いてみたで目がはなせなくて…」。お母さんにしてみたら「どうして?」「どうして?」でしょうが、ぼくや私にも言い分はあるのです。「だってさあ、ママは赤ちゃんばかり見ていないじゃない!」「私だって抱っこしてほしいよ!」。ママと赤ちゃんの間に割って入ろうとするお兄ちゃんやお姉ちゃんも懸命に訴えているのですね!! 赤ちゃんが眠ったときは、ぼくや私のハッピータイム。本当はママも横になりたいところなのに…。

さわやかな奥富の風景に包まれて

急に夏めいてきました。奥富の田んぼにも水が入りはじめ、これからカルガモの水かき仕事も忙しくなりますね。隣の奥富小学校のプールにも水が入り、本当にさわやかでおだやかな奥富の風景が皆さんを迎えてくれる季節です。幼稚園や保育園に入った親子の来所もめっきり減り、代わって第2子・第3子連れて訪れる方が多くなりました。1.5ヶ月・2ヶ月・3ヶ月・4ヶ月児と成長状態がひと目に見えるプレイスのフロアです。「こんなにちっちゃかったかしら?」「抱っこさせてもらってもいいですか?」「もう一人ほしいなあ…」とにぎやかな中にもゆったりした交流の空気が流れているプレイス。プレイス奥富の風景は、初夏から夏に変わろうとしています。



救急講座

今年も石心会狭山クリニックの看護師田辺さんにおいていただき、Q&Aを行いました。講座名は“救急を要する子どもの病気とケガの対応”でしたが、それも含め、“風疹の予防注射は…?”、“子宮けい癌ワクチンについて?”、“夜中に熱が出た時はどんな対応が必要か…?” “救急車を呼ぶ時はどんな時か…”等いろいろな具体的な質問に答えていただきました。例えば**救急車**について。



夜中に突然、子どもが高熱になれば、親はおろおろしてしまいがち。つい頼りたくなるのが救急車。最近ちょっとした事にも救急車に頼ろうとする人が多く、重要な緊急出動に支障をきたすこともあるとか。親としては時に冷静さも必要ですね!!

歯のはなし

虫歯予防デーを前に保健センターの原口さん、

大内さんにおいていただき、お母さん達の質問に答えていただきながら、一人ひとり持参したお子さんの歯ブラシの状態を見てもらいました。またプレゼントの歯ブラシで歯磨きの実践もしていただきました。「わからない人が分からない人に聞いてもわからない」「だからおしゃべりせず、しっかり話を聞きましょう!」という忠告を守って、真剣に聴講するお母さん達。その姿勢の素晴らしさをほめていただきました。当たり前のことを大切にしたいですね!!



新三輪車購入!



廊下で大人気のある三輪車が壊れて、さあ大変。「まだ直りませんか?」「三輪車は…?」との皆さんの声こえ声。それをしっかり受け止めながらも子ども達にふさわしいものが見つからず探していました。やっと新商品でこれなら!!という三輪車が見つかりました。シンプルで安全性も丈夫さもOKです。階段にくれぐれも注意してお使いくださいね!!